

【次回 催事 の ご案内】

《NBS 第 56 回 21 世紀中小企業勉強会 開催概要》

1. 日 時 2025 年 4 月 3 日(木) 講演会 16:00～18:00
2. 場 所 霞が関 商工会館 5H 会議室 (住所)千代田区霞が関 3 丁目 4-2
3. 講演会 講師： 安河内 賢弘 氏 (連合 副会長、JAM ものづくり産業労働組合 会長)
演題：『価値を認めあう社会へ』(仮題)
4. 参加費 一般参加者 1,000円 NBS 会員 無 料
〔ご講演 要旨〕

価値を認めあう社会へ

2016 年、JAM は公正取引の実現を改めて明確に方針を掲げた。その後、2016 年9月には、政府が「未来志向型の取引慣行に向けて」を公表するなど、連合や金属労協、経団連など、政労使すべてが取引慣行の是正の取り組みを始めることになる。

JAM はこの運動を「価値を認めあう社会へ」の運動と呼称し、さらに運動を強化していった。アフターコロナやウクライナ戦争等に起因する急激な円安やエネルギー高による物価高騰に対しては、価格転嫁緊急対策本部を立ち上げ、院内集会など様々な運動を通じて世の中に現場実態を訴え続けた。

同時に、JAM は物価上昇を超える賃金要求を行い、歴史的な賃上げを実現してきた。現在、この価格転嫁と中小労働者の賃上げは日本経済を語る上で欠くことのできない重要なテーマとなっている。

とはいえ公正取引の実現も賃上げも未だ道半ばである。今後、賃金と物価の健全なスパイラルの実現に向けた JAM の取り組みを考察する。

◇ JAM (ものづくり産業労働組合)

JAMは、機械・金属産業を中心とする産業に働く仲間39万人が結集する、産業別労働組合です。

JAMには、機械、電機、自動車、車両、精密機器、アルミサッシ、鋳鍛造、鉄鋼、住宅関連機器など、約 2,000 の単位労働組合(単組)が加盟しています。JAM加盟単組の特徴は、日本のモノづくりを支えているサプライヤー(部品供給者)を数多く組織し、100 人以下の組合が6割、4分の1が 30 人以下の組合で占められていること。1万人を超える単組も 30 人の単組もそれぞれが主役となり、地方JAM、業種別部会、大手労組会議の3本柱の活動体制に参加し、大会をはじめとする各機関を民主的に運営。スケールメリットを活かした活動を展開しています。JAMは、少数意見も大切にする、「みんなが主役の産業別労働組合」です。

5. 講師のプロフィール (＊安河内 賢弘 氏 ご略歴)

1997 年 3 月 九州大学農学部農業工学科 卒業 同年 4 月 井関農機株式会社 入社

JAM 井関農機労働組合中央執行委員長、JAM 四国執行委員長、JAM 副会長等を歴任し、

2017 年 より JAM 会長、連合副会長。 (現在に至る)

【お申込み方法】

・ご参加ご希望の方は、下記のアドレス宛に E-mail にて お申込みください。

【連絡先】 < hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp >

NBS 事務局 ： 橋本 宛

以上